

2019年6月14日

各 位

会 社 名 東洋合成工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 木村有仁
 (JASDAQ コード番号 4970)
 問 い 合 っ せ 先 取締役 経営企画部 渡瀬夏生
 電 話 番 号 03-5822-6170 (代表)

千葉工場 第4感光材工場(仮称)の地鎮祭を実施

東洋合成工業株式会社(代表取締役社長:木村有仁)は、5月30日(木)に千葉工場において、第4感光材工場(仮称)の建設を開始するにあたり、地鎮祭を執り行いましたので、お知らせいたします。



地鎮祭風景



木村社長による地鎮之儀

千葉工場では、半導体・ディスプレイの製造に使用されるフォトレジストの主原料となる感光材及び周辺材料を主要製品として生産し、世界市場で高いシェアを獲得しております。半導体業界は、IoTの拡大、5G通信への進化等による電子デバイス使用量の大幅増加、およびデータ通信量の増大によるDRAM・メモリーの需要増、AI・自動運転等の進化に伴うロジック半導体の需要拡大などが中長期的に見込まれております。またディスプレイ業界においても、高精細・大面積化が進んでおり、製造に必要となる原料需要の拡大傾向が続いております。

これらに対応するため、当社は第1弾のディスプレイ向け感光材、先端半導体向けポリマーの製造能力増強(2018年4月完了)、第2弾の先端半導体向け感光材の製造能力増強(2019年2月完了)を実施しました。さらに今回第3弾となる新工場の建設を進めており、2020年夏頃の完成を予定しております。これら計3回の能力増強施策により、従来比(2017年比)で約1.7倍程度の生産能力拡大を見込んでおります。

東洋合成工業では、中期経営計画「TGC300」において、2023年3月期に売上高300億円、経常利益30億円、経常利益率10%以上と目標として掲げております。今回の感光材第4工場(仮称)の建設により、生産能力の増強を図り、中期経営計画値の実現に向けて進んでまいります。

【新工場の概要】

名称:千葉工場 感光材第4工場(仮称)

所在地:千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号

稼働予定年月:2020年9月

生産品種:半導体・ディスプレイ向け感光材、及びその関連材料

延床面積:約7,000㎡

投資額:約70億円